

南三陸 復興まちづくり通信

第39号（平成29年9月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



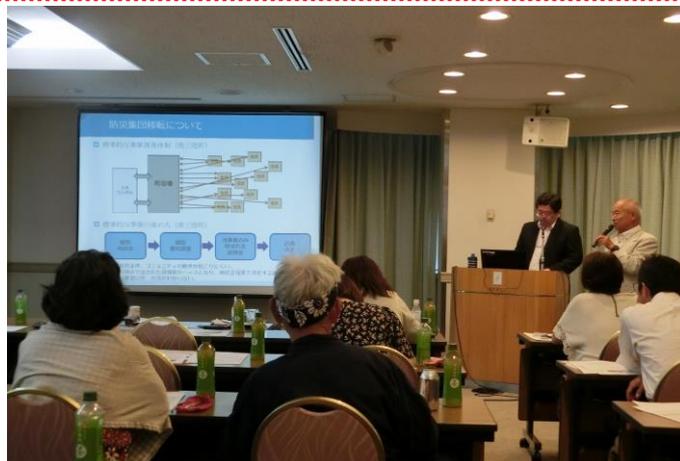
復興市街地にウジェスーパー南三陸店再開！買い物便利に

南三陸町志津川に7月20日、東日本大震災の津波で被災したウジェスーパー南三陸町店が再開しました。敷地には先行して薬王堂やホームセンターのダイユーエイトが新規オープンしており、ウジェスーパーの開業で「アップルタウン南三陸ショッピングセンター（SC）」が誕生しました。震災後、町内にはスーパーマーケットがなく、住民は佐沼や

気仙沼まで買い物に出かけるなど不便を強いられてきており、復興に向けて町民生活の利便性が大きく向上します。売り場面積は以前のおよそ3倍で、地元の新鮮な野菜や手づくりの農・海産加工品を扱う地産地消のコーナーのほか、購入した商品を食べることができるイートインスペースも。従業員の約8割が地元から雇用されています。

助成団体が活動の成果を発表

公益財団法人大阪コミュニティ財団「東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金」による助成事業の成果発表会が7月13日、東京都千代田区の「主婦会館プラザエフ」で開催され、復興みなさん会など4団体が活動を発表しました。当会からは後藤一磨代表と高田篤会員が参加し、「再建される新市街におけるコミュニティ再生支援事業」と題して助成事業の成果を報告しました。当日は、NPO関係者など32人が出席し、情報交換・意見交換が活発に行われました。



（成果を発表する「復興みなさん会」のメンバー）
（大阪コミュニティ財団様より写真提供いただきました）

グラウンドゴルフで住民交流

志津川地区東公営住宅の公園で、入居者と周辺地域の住民がグラウンドゴルフに取り組んでいます。東地区の高齢者クラブのグラウンドゴルフ部（佐藤清太郎会長 部員約 20 人）が中心で、雨天を除く毎朝 9 時になるとメンバーが集合。10 分ほどラジオ体操をした後、プレーが始まります。登米市南方の仮設住宅時代からのつながりのある住民も多く、冗談を言い合いながら和気あいあいとゲームを楽しんでいます。毎朝の集いで、独居者らの安否確認にも一役買っています。



(和気あいあいとグラウンドゴルフを楽しむ住民)



(流しそうめんを味わう子供たち＝平成の森キャンプ場)

平成の森で「夏休み流しそうめん大会」

キャンプ場で 8 月 5 日、「夏休み流しそうめん大会」が開催されました。復興みなさん会、宮城県臨床心理士会ママカフェ、平成の森アリーナ開放チームなどが共催したもので、流しそうめんやスイカ割り、スーパーボールすくい、水遊びなどのイベントが行われました。連日雨続きの夏休みでしたが、この日は天候にも恵まれ、親子連れなど 100 人を超す来場者で賑わいました。チラシで呼びかけをした効果で、災害公営住宅や高台移転団地に引っ越した住民の参加も多く、まるで仮設住宅の同窓会のような楽しい雰囲気でした。

福岡大生が被災地支援で下草刈り

福岡大学復興支援隊第 6 次派遣隊の学生 16 人が 8 月 21 日、南三陸町志津川でボランティア活動を行いました。一行は、3 年前に兵庫県加古川市立平岡中学校の生徒 160 人が植えた、上の山の「**椿**の避難路」の下草刈りをしてくださいました。皆さん、炎天下の作業、お疲れ様でした。

復興みなさん会では「南三陸**椿**ものがたり復興」と題して、大津波に負けなかった椿を復興のシンボルと位置づけ、椿の植樹会や津波から避難する道に沿って椿を植える「**椿**の避難路」づくりをするなど、様々な活動を展開しています。



(作業終了後に避難路で記念撮影する福岡大の学生)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当会は今年度、トヨタ財団と大阪コミュニティ財団から助成をいただいで活動しています。